

第13回東京都人権施策に関する専門家会議 議事概要

開催日時：令和6年8月2日（金曜日）16時～17時半

開催場所：東京都庁第一本庁舎 33階特別会議室 S2（オンライン併用方式）

《出席委員》 片岡洋子委員、熊田佳代子委員、権丈英子委員、近藤敦委員、
曾我部真裕委員、土井隆義委員、東優子委員、増淵達夫委員、
三輪まどか委員（以上9名）

《欠席委員》 曾根直樹委員（以上1名）

議題：

- (1) 東京都における人権施策について
- (2) その他

議題（1）東京都における人権施策について

- 資料1により、担当から概要を説明
- 委員からの主な意見

- ・ 昨年の刑法改正や今年の困難支援女性法等、今後、法律制定や改正時に、内容をどのように都民の方に周知し理解していただくか、どういうところに支援が必要なのかということを知っていくという点でも、人権啓発や人権教育の施策の中に、新しいテーマを積極的に取り入れていただきたい。
- ・ ホームページ上で資料、動画チャンネルなど、非常にわかりやすく魅力的に様々まとめられていてよいと思うが、古いものの更新など今後検討されるとよい。
- ・ 東京都の人権施策推進指針は今の時代に合わせて見直しを含めた検討をした方がよい。
- ・ 都におけるLGBTパートナー宣言は良い取組と思うが、性的マイノリティの人だけに限定するのではなく、ヨーロッパでも取り組まれている多様性憲章という、企業が多様性を尊重して差別のない職場づくりを目指すという宣言をする取組を提案したい。
- ・ トランスジェンダーの当事者を不安全に感じさせるような、言論活動も増えてきている。トランスジェンダーをめぐる安心・安全が変化しているかや、困り事が増えているかというようなことを一度調査してみてもどうか。
- ・ パートナーシップ宣誓制度について一定程度周知を図ってきた結果、制度利用が増えてきたことは素晴らしいと思うが、多様性の象徴として、進めてこられた施策をもう少し広げていただきたい。多様性を配慮したまちづくりのあり方について施策や理

念的なものなどできたらよい。

- ・加害者家族が非常に孤立し、困窮していることから、その支援は重要である。現在も一定の支援をされているということであるが、支援団体の紹介といった情報提供など支援メニューを更に進めていただくとともに、独立の課題として位置づけていただきたい。
- ・レイシャルプロファイリングの問題というのは大きな問題で、そういうことがもしもあるならば、是正はしていただきたい。